

概要説明書

概要説明書(その1)		※登録No.	2026D105
技術名称	バックホウ牽引式アスファルトフィニッシャー	※登録年月日	2026/9/7
		※変更登録年月日	
商標名等	バックホウ牽引式アスファルトフィニッシャー	開発年月	2023年4月
分野	☒ 土木分野 ☐ 建築分野 (必ず、どちらかを選択してください。)		
区分	☐ 工法 ☐ 製品 ☐ 材料 ☒ 機械 ☐ システム		
キーワード (複数選択可)	☒ 安全・安心 ☐ 環境 ☒ コスト縮減・生産性の向上 ☒ 公共工事の品質確保・向上 ☐ 景観 ☐ 伝統・歴史・文化 ☐ リサイクル		
	自由記入		
開発目標 (複数選択可)	☒ 省人化 ☒ 省力化 ☒ 経済性の向上 ☒ 施工精度の向上 ☐ 耐久性の向上 ☒ 安全性の向上 ☐ 作業環境の向上 ☐ 周辺環境への影響抑制 ☐ 地球環境への影響抑制 ☐ 省資源・省エネルギー ☒ 品質の向上 ☐ リサイクル性向上 ☐ その他 ()		
	開発体制 ☒ 単独 ☐ 共同研究 (☐ 民・民 ☐ 民・官 ☐ 民・学) 開発会社 株式会社 北越トラスト		
公的支援助成等(「Made in 新潟 新商品調達制度」)の関連の有無 ※分類の詳細は(その8)参照			
該当の有無	☒ 無し 有り ☐ I ☐ II ☐ III ☐ IV ☐ V ☐ VI		
問合せ先	会社名	株式会社 北越トラスト	
	担当部署	工事部	
	担当者	下妻 尚矢	
	住 所	新潟県小千谷市大字上片貝76-1	
	Tel	0258-82-2230	
	Fax	0258-82-1866	
	E-mail	n.shimotsuma@hokuetsustrust.co.jp	
	ホームページURL	https://hokuetsustrust.co.jp	
新技術の概要※ホームページでの検索結果に表示する技術の概要です(全角127文字以内)			
本技術は、小規模舗装に適した非自走型アスファルトフィニッシャーで、従来は人力によるアスファルト敷均しに対応していた。本技術の活用により、日当たり施工量の増大による工程の短縮や省人化による経済性の向上が期待できる。			
新技術の概要			
①何について何をやる技術か？(新規性についてではない)			
小規模舗装に適した非自走型アスファルトフィニッシャーであり、バックホウの排土板に掛止された状態で牽引されながらアスファルト合材の敷き均しを行う機械である。			
②従来はどのような技術で対応していたか？(従来の技術についてのみ記載する。新技術との比較ではない)			
人力によるアスファルト敷均し。			
③公共工事のどこに適用できるか？			
アスファルト舗装工事、舗設工。			

概要説明書(その2)

技術名称	バックホウ牽引式アスファルトフィニッシャー	※登録No.	2026D105
新規性及び期待される効果			
①どこに新規性があるのか？(従来技術と比較して何を改善したのか？) 人力施工によるアスファルト敷均しからバックホウ牽引式アスファルトフィニッシャーによる機械施工に変えた。 ②期待される効果(～が～になる。～を～にすることができる。) 人力施工によるアスファルト敷均しからバックホウ牽引式アスファルトフィニッシャーによる機械施工に変えたことにより、以下の効果が期待できる。 (1)機械施工の導入による日当たり施工量の増大により、工程の短縮が図られる。 (2)人力施工の負担軽減による省人化・省力化により、経済性の向上が図られる。 (3)レーキ作業の負担軽減により熟練工への依存度が低減するため、施工性の向上が図られる。 (4)バックホウと作業員との間のアスファルトフィニッシャーが介在することにより作業員とバックホウが近接混在しないため、安全性の向上が図られる。 ③アピールポイント 人力施工から機械施工へ変えたことで、生産性向上が行える。			
適用条件			
①自然条件 人力施工と同様に雨天時は施工しない。 ②現場条件 小型トラック、バックホウ、バックホウ牽引式アスファルトフィニッシャー、ハンドローラーによる作業帯延長(概ね13.8m)を確保する。 作業スペースとして、作業帯延長13.8m×作業幅3m=41.2m²を確保する。 ③技術提供可能地域 技術提供地域については制限なし。 ④関係法令等 特になし。			
適用範囲			
①適用可能な範囲 均し幅1000mm～1500mmの範囲内の舗装に適用できる。 ②特に効果の高い適用範囲 施工延長が長く、均し幅、均し高が一定の区間の舗装。 ③適用できない範囲 均し幅1000mm～1500mmの範囲を超える舗装には適用できない。 ④適用にあたり、関係する基準及びその引用元 特になし。			
留意事項			
①設計時 適合する排土板の大きさや形状に制限があるため、バックホウ機種との適合性について問合せ先に連絡する。(最適機種0.2m³～0.28m³バックホウ) ②施工時 均し幅、均し高に合わせてバックホウ牽引式アスファルトフィニッシャーを調整する。 バックホウ旋回時や後進時には作業員を巻き込まないよう、作業手順の周知・確認を行う。 ③維持管理時 施工後はアスファルト合材の残滓を除去し、清掃を行う。 ④その他 パッチング等には適さない。 納品は受注後概ね30日であるが、受注状況によって変動がある。 発注に際しては問い合わせ先に連絡する。			

概要説明書(その3)

[illegible]

概要説明書(その4)

技術名称	バックホウ牽引式アスファルトフィニッシャー		※登録No.	2026D105
施工単価	☐ 歩掛りなし ☒ 歩掛りあり(☐ 標準 ・ ☐ 協会 ・ ☒ 自社)			
1.施工条件				
【共通】				
・アスファルト舗装工(舗装幅1.4m、舗装厚50mm、舗装面積100m ² 、アスファルト合材使用料12ton)				
【新技術】				
・バックホウ牽引式アスファルトフィニッシャー(施工実績より、日当たり施工量490.0m ² /日)				
・運転手(特殊)2人、普通作業員(レーキ)2人、普通作業員(手元)1人 計5人				
【従来技術】				
・人力施工(日当たり施工量250m ² /日)				
2.積算条件				
【新技術】				
労務費				
・令和8年3月から適用する公共工事設計労務単価(新潟県)				
機械費				
・バックホウ、振動ローラー(建設物価・積算資料2026年5月号、燃料費を含む)				
・バックホウ牽引式アスファルトフィニッシャー(自社見積 令和8年度版)				
製造費450万(税抜)、5年償却、年間稼働日数125日から、1日あたりの単価7200円を算出。				
材料費				
・アスファルト合材(密粒度13再生アスファルト混合物): 令和8年5月20日以降適用 新潟県土木工事等基礎(公表)単価表				
【従来技術】				
・施工パッケージ: 表層(車道・路肩部)1.4m未満1層当り平均仕上がり厚50mm以下 (日当たり施工量250m ² /日)				
施工方法				
①フィニッシャー装着				
・牽引式簡易フィニッシャーをバックホウの排土板に装着する。				
②合材投入				
・バックホウのバケットを使用してアスファルト合材を牽引式簡易フィニッシャーのホッパーに投入する。				
③敷均し				
・バックホウを前進させながらホッパーから排出されたアスファルト合材をスクリーンで敷均す。				
④仕上げ				
・転圧、端部処理、表面仕上げ等を行う。				
残された課題と今後の開発計画				
①課題				
特になし				
②計画				
特になし				
施工実績	☒ あり ☐ なし			
新潟県の公共事業				
他の公共機関				
民間等	3件			
特許・実用新案				番 号
特 許	☐ あり ☐ 出願中 ☐ 出願予定 ☒ なし			
実用新案	☒ あり ☐ 出願中 ☐ 出願予定 ☐ なし			実用新案登録第324907号
他の機関による 評価・証明	証明機関	国土交通省		
	制度名	NETIS		
	番号	CB-240044-A		
	評価等年月日	2025/1/31		
	証明等範囲	機械		

概要説明書(その5)

技術名称	バックホウ牽引式アスファルトフィニッシャー	※登録No.	2026D105
概要図、写真等			



概要説明書(その6)

[illegible]

概要説明書(その7)

[illegible]